

Der Goldene Topf. Schreibszenen zwischen Chemie und Wahnsinn

黄金の壺 化学と狂気のあいだの筆写の場面

Referent: **ウーヴェ・ヴィルト**
Prof. Dr. Uwe Wirth ギーセン大学教授

17. September 2013, 16:00

2013年9月17日(火)
16時~18時

Universität Tokyo, Komaba Campus,
18. Bld., 4. Stock, Collaboration Room 3

東京大学駒場キャンパス,
18号館4階 コラボレーションルーム 3

ドイツロマン派の作家 E.T.A. ホフマンの創作メルヒェン「黄金の壺」を
カリグラフィーとポエジーとの関係、および錬金術と自然科学との関係
に着目して読み解く。

ウーヴェ・ヴィルト教授の紹介：
(Prof. Dr. Uwe Wirth)

【講演使用言語はドイツ語ですが、
日本語訳を用意いたします。】

専門分野はドイツ文学、文化学、メディア論。
著書・編著として、Texte zur mordenen Philologie
(2012), Propfen, Impfen, Transplantieren (2010),
Kulturwissenschaft (2009), Die Geburt des Autors aus
dem Geist der Herausgeberfiktion (2008) などがある。

Veranstalter : Das JSPS-Forschungsprojekt
„Wissen und Imagination. Literatur und Kunst in
deutschsprachigen Kulturkontexten um 1900“

主催 : 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 (B)
「科学の知と文学・芸術の想像力—ドイツ語圏世紀転換期
の文化についての総合的研究」(研究代表者: 鍛冶哲郎)

問い合わせ先 : 東京大学 大学院総合文化研究科 竹峰研究室
〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

E-mail: takemine@boz.c.u-tokyo.ac.jp URL: <http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~wissen/>